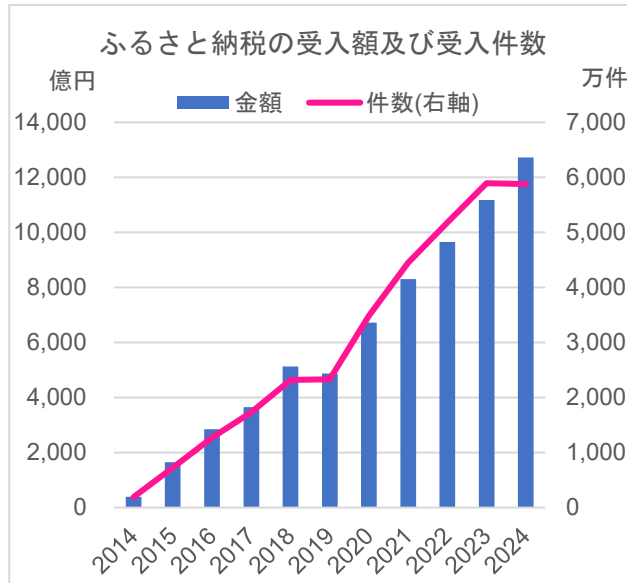


ふるさと納税の最新事情

すっかりお馴染みになった「ふるさと納税」制度ですが、運営サイトのポイント付与がこの 9 月で終了するため、今から急いで申込手続きを行う予定の方もいらっしゃるでしょう。実質的な節税制度に対する賛否はさておき、「ふるさと納税」の最新事情などを今回の CBCA NEWS でまとめました。（データの出所：総務省「令和 7 年度ふるさと納税に関する現況調査について」）

ふるさと納税の受入額と受入件数について



まず、ふるさと納税の受入額及び受入件数を見てみましょう。昨年（令和 6 年）のふるさと納税の受入額は 1 兆 2,727 億円となりました。前年比 13.9%の増加と、依然として高い伸びを続けています。ところが件数は 5,878 万件となり、前年の 5,894 万件を 0.3%下回りました。受入件数が前年を下回るのは、制度開始後初めてのことです。

件数が伸び悩んだ理由のひとつとして、ここもとのインフレの影響が考えられます。

ふるさと納税において自治体は、返礼品の調達費用は寄附額の 3 割まで、さらに送料や事務費用を含めた総コストは寄附額の 5 割までに留めることが義務付けられています。そこに足下の物価上昇です。返礼品の価格や事務費用も上昇しています。返礼品で人気の食品類は特に激しく値上がりしています。そのため各自治体は、返礼品に必要な寄附額の引き上げを行っています。いわば、ふるさと納税の「値上げ」です。寄附の総額を増やすことが難しい利用者は、寄附先を厳選し、申込件数を減らす必要が生じています。こうしたインフレへの対応が、全体の件数を押し下げた可能性があります。

件数が伸び悩んだもうひとつの理由は、返礼品の「定期便」が人気を集めていることです。

「定期便」とは、1 件の寄附により、期間において複数回返礼品が送られてくるコースです。お米の定期便の一例として、10kg を隔月で 4 回受け取るといったものがあります。2 カ月毎に 10kg を計 4 件申し込むより手間が省け、便利です。お米の他、果物や肉類の定期便が人気です。こうした定期便の普及が、全体の件数を押し下げた可能性があります。

さとふる お礼品のキーワードから探す 検索

人気ランキング お礼品から探す 地域から探す

「さとふる」ホーム > 人気ランキング > 定期便

【2025年最新】定期便のさとふる納税 人気お礼品ランキング (週間)

週間 8/27~9/2

検索条件: 定期便

カテゴリ別ランキング 解除

- 肉 ☐
- 魚介・海産物 ☐
- 米・パン ☐
- 果物・フルーツ ☐
- 野菜 ☐
- 卵・乳製品 ☐
- 酒・アルコール ☐
- 飲料・ドリンク ☐
- 菓子・スイーツ ☐
- 麺 ☐
- 惣菜・加工品 ☐

1 令和7年産 無洗米 10kg 【隔月発送4回】

【先行受付】令和7年産 無洗米 なつぼし定期便40kg(隔月発送...)

北海道秋田県 寄付金額 96,000円

5kg×2袋×4か月=40kg【令和7年12月発送開始】

★★★★★ (127件)

2 旬のフルーツ 定期便

【発送月固定定期便】12月の果物 2025年シ...

山梨県山梨市 寄付金額 28,000円

一度の寄付で二度楽しめる人気フルーツ定期便 シェアット・もち 順次発送

★★★★★ (1,154件)

出所「さとふる、ふるさと納税サイト(定期便人気ランキング)」

受入額の多い自治体

市区町村別 受入額上位と前年比受入額増加上位			
受入額上位	金額(億円)	受入額増加上位	増額(億円)
兵庫県宝塚市	257	兵庫県宝塚市	254
北海道白糠町	212	宮城県宮崎市	51
大阪府泉佐野市	182	北海道白糠町	44
宮崎県都城市	177	熊本県甲佐町	40
北海道別海町	174	北海道別海町	34
北海道根室市	147	山梨県甲府市	33
愛知県名古屋市	138	宮城県気仙沼市	27
宮城県宮崎市	132	静岡県富士市	26
北海道紋別市	131	東京都品川区	24
宮城県気仙沼市	122	山梨県山梨市	22

つぎに、ふるさと納税の受入額の多い自治体はどこかを見てみましょう。受入額 1 位は兵庫県宝塚市です。ただし、宝塚市の受入額 257 億円には、市立病院に対する市民 2 人からの約 254 億円の寄附が含まれており、通常の返礼品見合いのふるさと納税とは異なっています。

受入額上位 2 位の北海道白糠町は、返礼品でいくらやサーモンが人気です。同 5 位の北海道別海町は、帆立が人気です。同 8 位の宮城県宮崎市は、肉類やウナギが人気です。同 10 位の宮城県気仙沼市は、鮭やカニなどが人気です。これらの自治体は人気を呼ぶ展開が続き、前年比の受入額増加上位にも登場します。

受入額増加上位の 8 位には、静岡県富士市がランクインしました。地元の製紙工場で製造されるトイレットペーパーが人気です。注目は、同 9 位の東京都品川区です。モノの返礼品だけでなくコト（体験型）の返礼品に注力し、人気を博しました。例えば、返礼品の「フライトシミュレーター操縦体験」は、パイロットの訓練に使われるフライトシミュレーターを使って「離着陸」の操縦体験を行うことができます。ふるさと納税の新たな成功例として注目を集めています。

都道府県別、ふるさと納税の収支

都道府県別 受入と控除の差額（R6 受入-R7 控除）			
受入超上位	金額(億円)	控除超上位	金額(億円)
北海道	1,568	東京都	△ 2,015
宮崎県	551	神奈川県	△ 682
山梨県	421	埼玉県	△ 382
山形県	420	大阪府	△ 293
鹿児島県	382	愛知県	△ 280
新潟県	372	千葉県	△ 261
静岡県	345	広島県	△ 77
佐賀県	335	奈良県	△ 41
熊本県	333		
福岡県	273		

今回は、都道府県別のふるさと納税の収支を見てみましょう。左上の表は、令和 6 年の受入額から翌年（令和 7 年）の控除額を差し引いたものを都道府県単位で合計したものです。受入超は歳入増、控除超は歳入減を意味します。

受入超 1 位は北海道です。豊富な特産品を返礼品に他を圧倒しています。九州の各県は肉類などが人気です。果物の山梨県、米の新潟県、その両方の山形県なども上位にランクします。

控除超 1 位は東京都です。2 位以下は、神奈川県、埼玉県、大阪府、愛知県、千葉県と続きます。

さて、ふるさと納税の財政上の効果として、都市部から地方への税の再分配機能が挙げられます。現状は確かにその機能が働いていると言えるのですが、東京都品川区のような取り組みが他の都市部に広がると、はたしてどうなるのでしょうか。今後注視していきたいと思えます。

一般社団法人全国経営診断士協会

〒105-0012

東京都港区芝大門 1-1-32

御成門エクセレントビル 8 階

TEL : 03-6459-0161 FAX : 03-6435-7717

mail_jimukyoku@cbca.jp <http://www.cbca.jp>

お問い合わせ先